

第3回 九州医学哲学・倫理学会 学術大会報告

平成24年9月8日、熊本大学（黒髪北地区 くすの木会館 レセプションルーム）において、下記の通り開催された。

大会テーマ 「未来を開く医療と倫理」

1. 基調講演 医療モデルによる環境倫理の再考 — 病と災害の倫理学
熊本大学大学院 社会文化科学研究科 教授 高橋隆雄
2. リハビリテーション医療における理学療法と作業療法の異同に関する一考察
熊本駅前看護リハビリテーション学院 作業療法士 山野克明
3. 認知症患者に対して高侵襲性治療を差控える実質的根拠についての考察
熊本大学大学院 医学教育部 臨床倫理学分野 大学院生 門岡康弘
4. 自我と脳 — 高次脳機能障害者の手記を手がかりに—
福岡大学大学院 人文科学研究科 教育・臨床心理専攻 大学院生 中野桂子
5. 未来の人間学的考察 — V. E. フランクル『夜と霧』を通して—
西日本短期大学 保育学科 准教授 眞次浩司
6. 体性幹細胞、iPS細胞等による再生医療に関する一考察 — 「治療化」について—
佐賀大学医学部 非常勤講師、熊本西区役所 行政医師 藤井可
7. 中絶が許容される理由としての環境汚染
胎児性水俣病という存在を通して、出生の意味を考える
熊本大学大学院 社会文化科学研究科 特定事業研究員 笹原八代美
8. タイの商業的代理出産の現状と担当医の倫理的判断
— 三層構造分析の手法によるタイ生殖医療（代理出産）倫理の調査研究 —
鹿屋体育大学 教授・国際交流センター長 児玉正幸
9. 高齢期に相応しい医療に関する考察
熊本大学大学院 医学薬学研究部 生命倫理学分野 教授 浅井篤